



親神様が結構に お与之下々れ

小さな畑を耕し、夏野菜を育てている
としましょう。実った果実を収穫すると
きは、あちらからこちらからよく見るこ
とが大切です。すると思いがけず隠れた
実を見つけることがあります。

私たちは表面に見えることに目を奪わ
れ、一方的に思い込んだり、執着してし
まうことがあります。でも親神様のご守
護は全方位から戴いておりますので、一
見喜ばない姿が成ってきたとしても、真
の陽気ぐらしへ導かれる慈愛のでびきに
外なりませんので、まず私たちは思い込
みや執着から離れることが大切です。

たとえば人生には、つい心を倒してし
まいそうになるふしがあります。どうに

もならないときも、ふしをいろんな角度
から眺めてみましょう。きつと親神様の
親心や、先回りのご守護を見つけること
ができるはずです。そして結構さに気づ
いたとき、たんのうすることができるよう
になります。

教祖は娘から「もう、お米はありません」
と言われたとき、
「水を飲めば水の味がする。親神様が結構
にお与え下されてある。」

と、子どもたちを励まされました。食べ
物がなくても、健康な身体のあるがたさ
を見つけ、たんのうすることができると
を、教祖はひながたにお残してください
ました。私たちの成人の道のお手本です。

本島大教会布教部（人）



天理教本島大教会